『クリスマスケーキつくろう!』　4歳児12月伏見こども園

エピソード

砂場で毎日ごちそうづくりをしている子ども達が、クリスマスケーキをつくりはじめました。バケツに砂をたくさん入れてひっくり返しますが、崩れてうまくいきません。「もう一回」と繰り返しますがまた、崩れます。保育者が「うまくいかないね」と問いかけると、「なんで崩れるんだろう」と考えだしました。A ちゃんが「水を混ぜてみたらいいんじゃない」とこれまでの経験から、少し砂が固まって形になりやすいかもしれないことを思いつきました。「やってみようと」A ちゃんは水を汲みに行き、周りの子ども達は、再度バケツに砂を入れました。少しずつ水を入れ、砂と混ぜたり、手やスコップでぎゅっと押して固めたりしました。そして、ひっくり返そうと持ち上げると B くんは「さっきより重くなった」C ちゃん「うまくいくかも」と言いながら、みんなで「せーの!」とひっくり返しました。そっとバケツを持ち上げていくと…「うわぁ!大成功!」と少し崩れながらも、ケーキの形になったことをみんなで喜びました。次の日も、また次の日もケーキづくりを楽しみ、飾りつけもしていました。

子どもの育ちや学び

①砂場の砂をバケツに入れてひっくり返すが、うまくいかない。

②砂に水を混ぜて、ひっくり返してみる。

③成功したことを喜び、毎日繰り返しケーキをつくったり飾ったりすることを楽しんだ。

【うまくいかない経験】

あきらめない気持ち　友達と一緒に考える
道具を使って試す　自分の考えを言葉で伝える

【考えたことを試してみる】

友達の考えを受け入れる　重さの違いに気付く
友達と協力する　結果への期待

【成功体験】

嬉しさの共感　繰り返し遊ぶ
遊びの発展　遊びの中での役割

保育者の思い

・クリスマスケーキをつくりたいという思いを実現するために、試したり考えを出し合ったりする姿を見守りたいと思いました。
・保育者も子ども達の思いに共感したり励ましたりすることで、失敗してもあきらめずに試してほしいと思いました。
・自分の思いを言葉にして伝えている姿を見守りたいと思いました。
・ケーキができたことを一緒に喜ぶ中で、遊びがどう発展するか見守りました。また、遊びへの意欲やアイデアを受け止めたり認めたりしました。

お家の方へ

子ども達は上手くいかないことや、失敗することで、“どうしたらいいのかな”と考えています。友達と遊ぶ中で、一緒に考えたり試したりする姿に成長を感じますね。友達に自分の思ったことを言葉にして伝えたり、繰り返し遊んだりしながら楽しさを味わっています。